



中田 清介 議員

バランスシート分析による普通会計目的別資産老朽化比率をどう捉えるか。

老朽化率が高いのは産業振興部門。その中でも農業農村整備部門の比率が高い

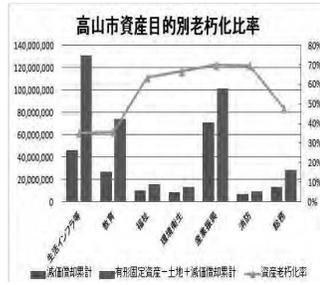
【問】この老朽化率の数値をどう捉えるか。

【答】要因は二つある。総務省改訂モデルのバランスシート分析ではこの部門の耐用年数が短い事、土地区画整理事業の実施以後、新たな投資がされていない事が主要因と考える。

【問】そこが市民にわかりやすい公共施設白書を作り、老朽化対策をどうするかの観点であり、ストック情報を財政のマネジメントツールとする対応だと考える。

【答】農業農村整備部門の老朽化に対する問題は、第八次総合計画に取り入れるべき問題と

考える。施設の長寿命化という中で、新設ばかりでなくどの様な手当てをしていくのかを含めた老朽化対策の必要性をこの数値は示している。



【問】公共施設白書についても計画の具体化が必要と考えるが。

【答】現在各施設別に公共性、需要、財務、品質、地域性、管理形態、この六つの指標で個票を整備した。今後は評価シートの作成から公共施設白書の策

定に向け取り組み、アセットマネジメントの導入に向う。

【問】今回の国の補正予算では、高山市はこの部門で活用できるメニューがなかったのか。

【答】国・県の事業が多く、今回は農業用水路を中心とした整備事業に、市単独で4,000万円を計上した。

高山市の災害時事業継続計画（BCP）の考えは

【問】災害時応援協定などの締結は盛んである。現在19区分70団体と聞いているが、その基となるBCPの策定が必要なのではないか。

【答】地域防災計画と共に重要な計画であると認識している。

必要な経営資源の確保・配分などを柱とした業務継続計画を平成25年度に策定したい。ライフライン部門と医療分野の対応を強化していきたい。



谷澤 政司 議員

職員不祥事事件の扱いかから、一部管理職の体質改善が急務

前回質問したら、市民からの反響が大きい。夫婦共働き51組102人、そのうち管理職が10組あるが、若者の雇用に解放したら。

【問】夫婦とも管理職が現在退職すると、退職金を約5,600万円もらう。現実の社会とかけ離れている。若者雇用に解放をどう考えているか。

【答】退職は本人の意思によるので、働きかけはしない。

市長は就任時、市民との約束で「5年後までに職員800人体制を目指す」としたが。

【問】就任時967人が、3年経て902人の△65人、約束達成は大丈夫か。

行しながら800人体制にしていく。

旧久美愛病院跡地（大新町）の地域活性化を図る考えは。

【問】平成27年度からの第八次総合計画に盛り込む考えは。

【答】商工会議所との懇談で、検討するに値するだろうと答えた。

【問】跡地で、市に永年貢献している地元社会福祉法人が施設整備計画を考えているが。

【答】一人に肩入れすることは禁止されている。

県が公表の「南海トラフ高山大原断層帯」地震被害予測への対策は。

【問】公表によると死者870人、全壊建物1万7,000棟。さらに

一部損壊や半壊の建物及び山や道路の崩壊を入れると恐ろしい数値になるが、その対策は。

【答】被害想定数値を参考にし、地震防災対策を強化していく。

【問】国体開催を契機にスポーツ振興策は。

【答】全国大会の誘致やトップアスリートらの指導等を考えていく。

【問】子ども夢創造事業での芸術文化等は。

【答】市と提携の大学や活動者から、活動を始めるきっかけづくり等を学び、夢や生きる力を学び、今後のまちづくり



ぎふ清流国体（少年男子ハンドボール）で活躍する地元選手